

熱中症 予防教育 法律を知ってケガなく安全に

夏場をむかえるにあたり 知っておこう！

建設業は熱中症多発業種です。業態として日中、炎天下の高温多湿な場所で作業することが避けられないためです。熱中症による死亡者数は年間20人前後であり、その約半数を建設業が占めています。

熱中症の発生は4月頃から見られ、7月と8月に多発します。猛暑だったの年は、熱中症による死亡者数が47人にもものぼりました。熱中症は、適切な処置を怠り、手遅れになると死に至る場合もありますが、正しい知識と対策による予防が可能です。熱中症を予防するためには、管理者による適切な作業管理と、我々自身による健康管理が重要です。

ぜひ、この機会にご参加を！資格証も発行され、CCUSにも登録できる教育です。

調布支部会館で開催！

身近で気軽に受講できます

身近で気軽に受講できる、この機会をぜひ利用して、職場の労働安全推進と労働条件改善のリーダー育成にご活用下さい。

日時 5月19日(日) 午前9時～正午

会場 東京土建調布支部会館 (調布市深大寺元町1-15-1)

受講料 3,300円 * 申込締切:5月7日(火)午後5時

【受講対象】 組合員、【定員】 40人、【主催】 職業訓練法人東京土建技術研修センター

【申込】 調布支部事務所へ、写真1枚(30×25ミリ)、印鑑、受講料をお持ち下さい

ご不明な点があればお気軽に支部赤池までご連絡下さい。開催最低下限人数8人となります。8人以上の申し込みがなければ開催しません。

東京土建 調布支部 042-484-0505